

# 日本家庭教育学会

## 令和6年度第39回大会のご案内

### ◆大会テーマ

今こそ子どもたちに必要なもの一心の土台としての非認知的な力を育む家庭教育

### ◆主 旨

わたしたちの社会は高度情報化が進展し、目まぐるしく変化してきています。スマートフォンは大人だけでなく、子どもたちも使いこなす時代になっています。「情報化社会」という言葉は古臭さを感じさせるほどすでに自明のこととなり、現在ではAIの時代に突入しています。AI技術は様々な場面に取り入れられ、人々の労働のあり方を大きく変化させつつあります。現代社会は情報化社会に続くまったく新しい社会(Society5.0)に突入しているとされています。

このような時代状況のなか、これからの新しい社会を生きていく子どもたちをどのように育ていけばよいのかということは大きな課題です。「学歴社会」といわれる日本では、能力を点数化・数値化によって認知できる能力を重んじる傾向にありました。しかし、このような数値化によってはかえることができる認知能力を高めるだけでは不十分で、これからの時代を生きていく力を養うためには、意欲・自信、忍耐、自制、自立、協調、共感といった数値化できない非認知的な心の能力を育むことがますます重要となってきています。幼児教育においてもこのことは十分認識されており、非認知的能力をどう高めるかが議論されるようになってきました。

今回の大会では、これからの新しい社会を担っていく子どもたちに必要な非認知的な心を育むために家庭教育において何が大切かを、専門家を招いてご講演いただき、共に考えていきます。

◆日 時：令和6年8月24日（土）10：10～17：00

◆場 所：貞静学園短期大学

◆参加費：無料

◆プログラム：

09：40 受付開始

10：10 開会式

10：30 研究発表

12：30 昼食・休憩（\*常任理事会）

14：00 講演・パネルディスカッション

講師：遠藤 利彦 氏

（東京大学大学院教育学研究科・教授）

講演後質疑・応答およびディスカッション

16：30 閉会式・会員総会

17：30 懇親会（会場：ビカヴォ、会費：5000円）

※懇親会参加希望の方は事務局までお知らせください。